

地方通信



東北地方

岩手縣の觀光道路

岩手縣下二戸郡福岡町から青森縣三戸郡田子村を經て十和田湖畔に直通する觀光道路福岡田子線(縣道)は昭和六年の頃福岡斗米道路組合が工事に着手し六ヶ年の歳月と九萬四千餘圓の工費を投じて竣工した。彼の有名な縣境蛇沼開墾地を貫通し幅二メートル餘延長二十一キロの東北鐵道本線から十和田湖に通ずる最短距離の路線で且つは岩青兩縣の産業上に少からざる利益を與ふるものである。

地方通信

秋田縣下岩崎橋の開通

秋田縣雄勝郡岩崎町地内皆瀬川に架する岩瀬橋の計畫大要を述べれば次の如きものである。

計畫大要

本橋は有効幅六・四米延長二五三・七米のケルバー式鐵筋コンクリートT桁橋にして縱斷勾配二百分の一、横斷勾配五十分の一、橋面はコンクリート鋪裝なり、皆瀬川は急流河川にして低水路の位置決定的ならず、洪水時流速を増し橋脚附近河底洗堀せらるるを以て橋脚基礎は成る可く低位に置く必要あり、低水路附近橋脚五基を井筒基礎とし其の他五基を抗打基

礎とせり橋臺は扶壁式鐵筋コンクリート造なり。

取付道路は有効幅員七・五米最急縱斷勾配三十分の一、最小曲線半径百米總延長三一・九米にして内岩崎町側延長二五・五米十文字町側延長三十米をコンクリート鋪裝とす。

岩崎設計要項

(イ) 延長 二五三・七米

(ロ) 幅員 六・四米

(ハ) 橋臺 二基、杭打基礎扶壁式鐵筋コンクリート

(ニ) 橋脚 五基、鐵筋コンクリート井筒基礎 五基、杭打基礎

(ホ) 橋體 一一連ゲルバー式鐵筋コンクリートT型桁 徑間二・四米

可動支承ビン及ローラー

(ヘ) 橋面 コンクリート鋪裝

工費豫算

本工事費 一四〇、四〇〇圓

用地費及物件移轉補償費 六、一〇〇圓

器具機械費 四、八〇〇圓

雜費其他 八、五〇〇圓

計 一六〇、〇〇〇圓

着手竣功其他

着手年月日 昭和九年六月

竣功年月日 昭和十年十月

使役延人員 約五六、〇〇〇人

使用主材料 セメント約九六九吨(一九

三、八〇〇袋)鐵筋用丸鋼約
二五五吨

關東地方

茨城縣に於ける表彰

茨城縣知事は二月十一日紀元節の佳辰を
卜し夙に公共心に厚く特に府縣道湊鹿島線
改良工事に方りて有志と謀り事業の遂行に
協心助力し又交通開發の爲私財を提供し、
事業の達成に貢獻したる功績顯著なるの廉
を以て次の四名を表彰した。鹿島郡新宮村
堀明之助、道路工夫成島五郎、同飯村茂十
郎、同鈴木捨次郎。

茨城千葉兩縣に跨る水郷

大橋

今は昔大江戸通ひの帆かけ船や高瀬船、

「利根の川瀬に追風を孕む舟にや米積む眞
帆片帆」の船唄ゆるく水面にひゞき纏綿た
る水郷情緒も近代化せられ大利根を征服し
て夢物語りの架橋は實現し、昭和八年以來
三年餘の歳月と四十五萬圓の工費を投じた
水郷大橋は遂に落成し沿岸の民衆を歡喜に
導き其開通式を四月八日舉行した坂東太郎

の河水も寄せる人波には顔まげした姿であ
つた。其景況及工事概要は別項にかゝる。

埼玉縣下渡戸橋の竣工

埼玉縣兒玉郡若泉村と群馬縣多野郡鬼石
村間の縣道兒玉鬼石線神流川に架する渡戸
橋は四萬四千二百四十圓の工費を以て架工
中であつたが、此度竣工を告げたので四月
七日橋畔で開通を舉行した新橋は、延長七
五・四メートル有効幅員五・五メートル
鐵筋コンクリートのアーチ型二連その兩側に
型橋各一連を架したもので附近の勝景に
相應した設計のモダン橋梁である。

神奈川縣大師橋の起工

神奈川と大東京とを連結する六郷川に架
する大師橋は愈々起工に着手することとな

つた。其工費は百三十萬圓を要するが縣と
府とで折半して負擔するものである。

北陸地方

石川縣の旌表

石川縣知事は二月十一日の紀元節に優良
團體各種事業功績者並に常用工夫等を表彰
した。即ち道路の維持修繕に盡瘁し其の成
績顯著にして他の模範たるの廉を以て道路
常用工夫、北中宗一、同三與三郎、同太田
勇次郎、同打越小太郎、同櫻井市太郎、同
中島榮作の六氏が其選に當つた。

新潟縣の災害復舊工事で着手

新潟縣では道路、橋梁、港灣の災害復舊
工事の着手季節となつたので、七百五十九
ヶ所に三百四十萬圓を投じて起工の運に至
つたので關係地方では、春は土木景氣から
黄金の雨だと喜んで居る。

東山地方

長野縣下南アルプス登山道

長野縣下伊那郡生田村鎌倉屋地先から、同郡大鹿村岩洞間二千メートルの縣道改修工事は工費二萬圓餘で十二日より着手するが、同道路は南アルプスの登山道路として要望されてゐたもので完成の曉は今まで交通の閉ざされてゐた大鹿村まで自動車が行き通せぬ南アルプス登山者に一大利便をもたらしめるのである。

東海地方

愛知縣下のモダン橋

愛知縣下岡崎市の支那明粧のモダン橋明代橋架設は其工事に着手した。同橋はゆたかな史蹟と傳説を秘めて街の中央を貫流する菅生川に架かり、名鐵岡崎驛から商店街傳馬町とクロスして足助街道に接する都計路線で岡崎市の喉元にある重要橋梁である。

地方通信

が、従来の橋は既にボロくとなり車馬は通行止めを食つて殿橋を迂廻してゐたほどであつた。新橋は延長百四十メートル、幅員十一メートル、總工費七萬七千圓。

名古屋市の新道開通

名古屋市に於て昨年七月十五日着工した都市計畫道路白鳥線のうち南區中島新町より市郡界に至る十八間道路の開鑿工事は十一萬餘圓の工費を費して八日漸く竣工した道路延長は千四百四十七間でその間荒子川に架かる長さ十一間の中島橋をはじめ庄内用水路に架かる長さ三間の二無名橋、都合三橋梁があり昨年完成した市電江川線より中島新町より一色大橋に至る線路とも連絡しちかく着工する同道路の延長線白鳥橋までが完成すれば明德橋より大瀬子橋を経て熱田傳馬町に至る國道一號線(舊東海道)に代る東西連絡新國道として重要な役割を果すことになつてゐる。

近畿地方

大阪府功勞者の表彰

大阪府に於ては三月二十三日道路愛護並に河川愛護表彰式を舉行した其道路愛護表彰者は次の通りである。中河内郡八尾町大字大信寺松本豊造△三島郡見山村上音羽五人組代表鹽田誠三△泉北郡上神谷村大字田中植田眞三△同横山村道路愛護會△三島郡石河村道路愛護會△豊能郡西能勢村道路愛護會△泉南郡南掃寺道路愛護會△南河内郡千代田村鳴尾青年團△泉南郡淡輪青年團△北河内郡友呂岐尋常小學校△泉北郡横山小學校。

大阪府下河内平郡の新道

路着工

大阪府では産業道路、大阪枚岡線が完成したので新年度からは北河内郡枚方町から中河内郡八尾町に至る枚方、八尾線の大工事に着手することゝなつた。この線は大阪市を中心とする例の放射線をつなぐ環狀線ともいふべきもので北河内郡枚方町を起點とし蹉陀村蹉陀神社西を経て、友呂岐村豊野村から放射線跡守口龍田線と交又し南郷

和歌山縣の大橋北島橋の竣工近し

村の東部を経て中河内郡に入り扇津飛行場で産業道路、大阪枚岡線と交叉、さらに玉川村をへて大軌電車と交叉、また若江村から西郡村を経て參急線と交叉し、八尾町西を経て同町本町橋に至る全長二十八キロ四分、幅員九メートル乃至十一メートル、この総工費二百九十六萬圓、六ヶ年の繼續事業となつてゐる。これが實現は大阪東北方郡部産業と地方開發に多大の刺激を與へるものであり中、南、北三河内郡民が多年待望してゐたものである。

和歌山縣産業道路工事の進捗

新宮川に沿うて新宮市と本宮村を結び、はゆる新宮川丈道路工事は目下大いに進捗して、高田川の相賀橋が出来るとまづ新宮、三津野村約五里の間に自動車を通ふことになつて今まで川舟やプロペラ船のほか陸路の交通を持たなかつた沿岸村に畫期的な利便が展げ、産業上にも一大光明を投げることになる、相賀橋は川丈道路中二大橋梁の一つで長さ六六メートル、幅四・五〇メートルで四月中旬完成の豫定である。

和歌山と大阪とを繋ぐモダン大鐵橋北島橋は其竣工も近づいた。綿ネルの街和歌山と工業日本の心臓部と呼稱する大阪をつなぐ國道十六號線——といふよりはむしろ多幸な將來を豫約された阪和大産業道路の要關としてあさみどり、に映ゆる紀泉アルプスの影を宿しつゝ、靜かに流む紀の川にこの大鐵橋架設の工が起されたのは南國の空に灼熱の太陽がギラ／＼と輝いてゐた昭和八年七月十一日であつた。デフレーションの荒

波は都と鄙とを問はず數知れぬ失業群をつくつた。働くに職なく……と苦惱に喘ぐ失業群を救済すべく同年から三ヶ年繼續工事總工費實に六十五萬圓の計畫で着工されたかくて二十年十ヶ月の歲月と延人員六萬の人力が動員されすでに高欄工事の一部と鋪裝を殘すのみ、今月中には新裝全く成つて五月十二日には花々しく竣工式が舉げられ、紀和の交通界は黎明の歡びに彩られるのである。總延長六二〇メートル、幅員一一メートル、左右に二・五〇メートルづつの

歩道を設け中央部は車道となつてゐるが、躍進和歌山の陸の玄關にふさはしい華麗とシツクを誇る堅牢さを具へて居る橋梁である。

中國地方

廣島縣知事の功勞者表彰

廣島縣知事は二月十一日の紀元節の佳辰をトシ功勞者の表彰を行ふた其道路に關係あるものは左の通りである。

- 勳七等 瀬川 卯一
- 資性篤實風ニ郷黨ノ信望ヲ擔フ明治三十五年安佐郡山本村長ニ舉ケラレ爾後累選勳績スルコト實ニ三十三年餘ノ久シキニ追フ此間恪勤勵精克ク村政ヲ變理シ或ハ耕地整理ヲ斷行シテ灌溉ヲ便ニシ以テ旱漬水害ノ憂ヲ除クト共ニ水害地ノ復舊道路河川整理ノ大業ヲ完成シ民福ノ増進ニ資スル等地方自治ニ盡シタル功績洵ニ顯著ナリ仍テ銀盃一組ヲ贈リテ之ヲ表彰ス

四國地方

香川縣の土木事業の進捗

香川縣土木課では十年年度農村土木事業進捗の状況を調査する所があつた。夫れは縣道路事業四ヶ所二十六萬二千九百五十圓中終了十七萬五百三十二圓△河川事業八ヶ所四萬五千圓中終了六千三百五圓△町村道路事業九十三ヶ所五萬五千三百三十圓中終了二萬六千六百七十二圓△港灣事業七ヶ所四萬六千九百七圓中終了四萬二千四百八十三圓△合計百十二ヶ所、總額四十萬九千九百八十七圓中二十五萬九千九百九十二圓。すなはち約六割五分が完成して四月の年度替りまでに残り三割五分を是非とも終了せしめねばならぬ状況である。かく事業の中間どつてゐるのは農繁期で人夫が少かつたため、縣では馬力をかけてあと二ヶ月あまりのうちには全事業を完成せしむることゝなつてゐる。

高知縣高知市堤防道路の完成

高知市が東唐人町、九反田、棒堤方面市民の交通に新時代をもたらすべく二年計畫で工事中であつた九反田橋詰より潮江橋北詰に至る三百間の堤防道路、擴張は約七千圓を投じこの程に至り全部の完成を見た。即ち從來の堤防道路は狹隘を極め自動車の交通不可能であり該地區の市民は不便を啣つて居たもので三間幅擴張完成により萬一火災突發の場合も消防自動車の急速なる活動が出来るので、沿線住民の福音とされてゐる。

高知縣西端の道路改修竣工

高知縣では竣工近くして風水害に殊ど表面工事を奪はれ更に繼續工事施行中の清水町伊佐港の修築工事は、當局の努力と、地元部落民の多大な犠牲の下に、三月末を以て全く竣工防波堤および舟曳場等堅牢壯麗に竣工を告げたので、四月四日盛大に落成式を舉行した。なほ同日は兼ねて足摺岬線一部竣工開通式並に道路愛護會發會式も

併せて行ふた。

高知縣の路政は集中主義か

地方産業開發の支點となり窮乏農山漁村に豊かな救済の手を差し延べる道路改良改修工事は昭和七、八、九年度は時局匡救土木事業として、また昭和十年度は農村その他應急土木事業として相當廣範圍に實施せられたが昭和十一年度以降においては政府は重要府縣道路改良中とくに纏つたもので以外は補助しないといふ方針であるので縣でも内務省のこの方針に基き從來の行き當りばつたりの分散的補助方針を一變し、本年度からは特に明確な根本的原则の上に立つ重要路線を以て限定して集中的に施行するいはゞ集中主義へと轉換することゝなつた。縣土木課で當面の工事中の目標となつてゐるのは大體に於て經濟的路線としては過日着工した五丁目鏡川橋間の都市計畫線と土讚線全通とともに一躍文化線上に躍り出た嶺北地方の開發道路、また觀光縣としての面目を整へるための名勝地道路としては龍河洞遊覽道路完成等である。

高知縣の道路愛護會の普及

高知縣下に於ける道路愛護會は益々普及の情勢を呈した最近其發會式を舉行したものは左の通りである。△幡多郡清水町第二區(中濱、大濱)道路愛護會發會式は三月十六日午前十時より中濱小學校で開催、主催者側よりは道路河川愛護主務土木事務監察員たる縣道路兼土木技手丸山新藏氏を初め清水町駐在の近藤、上岡兩土木員出席、大濱、中濱より兩區長を初め町會議員郵便局長その他多數の有志並に青年團、在郷軍人團、消防團、婦女團等各種團體の首腦者學校職員、生徒等約三百名參集し盛會を極めた。

△三月二十一日午後二時より幡多郡具同村道路愛護治水保全會發會式は同村小學校にて舉行、參列者は島田幡多支廳土木課長、松本縣書記、掛川土木監督、濱田具同村長、北小路具同校長、學校職員、濱田具同駐在巡查、在郷軍人分會員、男女青年團員、消防組、國防婦人會員、愛國婦人會、村婦人會員、村有志等で濱田村長の開會の挨拶あり北小路校長の指揮で宮城遙拜、國歌合唱

に續いて村長の告辭會則審議をなし満場異議なく決定、役員を選舉し、會員一同は左の宣誓をなし幡多支廳長、岸田縣土木課長の祝辭、村有志、吉田一耕氏の祝辭に併せて過去の實例を引用し將來の希望を述べ最後に北小路校長の音頭にて萬歳を三唱、午後四時半盛會裏に閉會した。

宣誓文

道路の良否は文化の普及及産業の進展に極めて重大なる關係を齎し、治水施設經營の適否又産業の發展村勢の隆昌に影響すること甚大にして忽語にすべからざるや言を俟たざる處なりよつて本會員は率先し道路愛護治水施設保全の良俗を擴充し相率ゐて其實績を揚げ村文化の開發、福祉増進に寄與せむことを誓ふ。

△幡多郡後川村道路愛護會發會式は三月十二日、同村小學校講堂において道路愛護會發會式を舉行、參列者は縣土木課丸山道路技手、支廳より田邊道路技手松本道路書記中村警察署長代理岡崎巡查佐古村長同村役場員學校職員上級兒童男女青年團在郷軍人分會消防組員その他有志等であつた。

△同郡和田村は三月十三日同村小學校講堂

で道路愛護會發會式舉行參列者は縣土木課丸山道路技手、支廳よりは小野土木工手宿毛警察署長代理掛川巡查岡田村長村役場員谷岡、松澤宮崎松本各小學校校長外職員上級生男女青年團、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組外有志等であつた。

△同郡小銃紫村は三月十四日午後一時より同村小學校講堂で道路愛護會發會式舉行參列者は縣土木課丸山道路技手幡多支廳より松本道路書記、武市土木工手、橋村々長、同村役場員、學校職員、上級生徒、男女青年團、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組員その他有志等であつた。

△同郡月灘村三月十五日午後一時より姫ノ井尋常小學校講堂で道路愛護會發會式舉行縣よりは丸山道路技手支廳より遠近工手、宿毛警察署長代理徳弘巡查、米花村長、同村役場員、上岡才角、矢野川、月灘、小野、柏西、小田周防形、細木春遠、山口姫ノ井各校長各校上級生徒、男女青年團、在郷軍人分會、國防婦人會、消防組員その他有志等であつた。

△土佐郡宇治村では三月二十五日宇治尋常高等小學校講堂において道路愛護會發會式

を舉行參列者は縣土木課丸山道路技手、竹村土木工手、伊野警察署長代理前田巡查、久万田宇治村長、同役場員、山脇小學校長、同職員、男女青年團、在都軍人會、國防婦人會消防組、其他村有志である。

△高岡郡久禮町では三月十九日久禮尋常高等小學校講堂に於て道路愛護會發會式を舉行、參列者は縣土木課丸山道路技手、藤村土木工手、佐野工手、岩崎助手、藤岡久禮町助役、同役場員、友村小學校長、同職員、男女青年團、在都軍人會、國防婦人會、消防組、其の他町有志等であつた。

九州地方

宮崎縣下モダン川島橋の竣工

宮崎縣東臼杵郡北交通産業界に一畫期を來す東海村川島橋竣工式は二十八日午前十時から同橋上に盛大に舉行、三島知事(代理)、縣議、仲田延岡市長を初め關係町村長、有志二百餘名列席の下にまづ神事を行ひ工事報告、松田村長の式辭、三島知事以

地方通信

下來賓祝辭があつて閉式、續いて同村小島古谷菅吉氏一家の三夫婦によつて目出度く渡初式が行はれ、終つて祝宴を催したが、この間村内各青年團、婦人會などの仁輪加手踊りその他の餘興隊が續々と繰り出し附近は未曾有の人数で深夜まで大賑ひを呈した。なほ同橋は工費九萬五千圓を以て昭和九年一月着工したもので様式はモダンなゲルバー式により延長百五十メートル、幅員五メートル、四基の橋脚を有し最長徑間は實に三十四メートルに達するものあり、日本一の記録を作つた堂々たるもので、從來不便な渡船によつてゐた南北各方面に絶大な利便を與へることになつた。

佐賀縣下樞要道路の舗装計畫

佐賀縣では自動車交通量の激増は砂利修繕の彌縫策では徒に縣費を浪費するに過ぎないと考へ昨年以來道路網の計畫を立てて隨時に樞要道路を舗装し時代の要求に處することとした。即ち十年度には約四萬圓、工の費を以て小城町内千米、武雄町内二千米、伊萬里町内五百米、佐賀市内驛前紡績

通千五百米、鹿島町六百米、祐徳院前千米牛津町六百米、諸富縣道六百米を完成し近くは佐賀郡巨勢村の千米、廣津市の五百米呼子縣道側溝工事五百米も舗装道となる。尙十一年度以降も引續き部分的舗装に努め佐賀廣津間、島栖佐賀間、佐賀武雄間、武雄野間の樞要道路の舗装を完了し、以て自動車交通の理想的道路の實現を期し居る。

長崎縣の功勞者旌表

長崎縣知事は二月十一日縣治效績者並に各種功勞者を左の如く表彰せり

常備修路工夫	鹽谷	淺市
(各通)	同	八十島三郎
同	同	中島 隆
同	同	水下和三郎

多年精勵恪勤道路ノ維持修繕ニ從ヒ其ノ成績顯著ニシテ他ノ模範トスルニ足ル仍テ茲ニ銀杯一箇並金一封ヲ授與シテ之ヲ表彰ス

× × × ×